



「武石村に上医あり」美しい国別荘地オーナーにとって最大の宝物、**武石村診療所の寺島先生**を紹介します。

美しい国に長期滞在出来る人は60歳過ぎた人が多いようです。とすると**老人医療がどこまで受けられるか**が非常に大切な要因になります。若い方でもここに長期滞在できる年頃になることを楽しみにしておられる方が多いことと思います。美しい国に長期滞在・定住するときに**老人医療がどのような考えで行われているか**が重要なことになると思います。このような疑問に答えていただける方は**寺島先生だ**と思ってお話を伺いました。

「Dear Friends」に寺島先生紹介の記事を書かせていただきたいとお話すると快く受けただけでした。更にあつかましく美しい国まで来ていただけないだろうかとお願いと快く受けただけでした。そんな気さくな寺島先生にだんだんと引き入れられてしまいそうです。

「診療所の年間訪問診療回数は1,800軒あまりです」

「訪問看護が充実しています」

「老人が入院すると、してもしようがない治療をあれもこれもされてしまう危険が大きくなります」

「胃に穴を開けて管を通して・・・、頭に穴を開けて血栓を取り除くと廻りの脳機能が傷ついて植物人間になり・・・」

「若い頃診療しているときにそのように惨めに死んでゆく老人を沢山見してきました」

「当時の老人医療に疑問が出てきました」

「自宅で死を迎える老人に幸せそうな方が多いです」

「依田窪病院との連携も緊密に出来ていますよ。依田窪で定期健診入院して、後は私が訪問看護して上げられます」

寺島先生のお話を聞いて気が付きました。3年前に読んだ、「信州に上医あり」南木佳士著・岩波新書や南木佳士の本の中にあるような感じがしてきました。都会の病院では想像できないことです。

寺島先生は**武石山岳会の会員**で、いろいろな山に遊んでおられます。「もう少し若い頃は、頂上公園から美ヶ原まで1時間半ぐらいで登って、1時間足らずで降りてきたことがある」そうです。外見は優男風ですが。

最近では地質学?に凝っておられる。山にかなづちを持って入り、石を手当たり次第に割っては化石を探してみたり、水晶を探し回ったり。武石村地質研究会メンバーは現在1名だそうです。会員募集中。

とにかく、**気さくで、優しい先生**です。

もう紙面がなくなりました。寺島先生、武石村診療所、長野県の診療事情、まだまだ紹介したいことが沢山あります。**皆さんまず元気なうちに診療所に寺島先生を尋ねてください。**